

★さすが

「この仕掛けに気付くとは、さすがだね」

「先に発言するとは、さすがは先輩ですね」

〈主観〉成果を出したり優秀な成績を収めたりした相手に対して、それは意外ではなく、とうに予想していたという気持ちを込めて言う。

🔥注意 常日頃から高く評価しているというところが伝わるが、評価は上から下に対して行われるものであり、言い方によっては尊大さや揶揄、皮肉がにじむこともある。

①バリエーション

★裏切らない「評判を裏切らない面白さ」

★期待通り「即戦力をアピールして入社した新人は期待通りの働きぶりをみせた」

★それもその筈「駅に置かれたピアノで見事な演奏を披露。それもそのはず、プロの音楽家だった」

った」

★果たせるかな「果たせるかな、難関を突破した」▼思った通り。

★面目躍如「饒舌な語り口で翻弄するツツコミは上方漫才の面目躍如と言える」

★やはり「やはり熟練の技は違いますね」

②ざつ【雑】

「仕上がりが雑だ」

〈状態〉扱い方がぞんざいだったり、整理整頓されていなかったりする状態を言う。細かいことを気にせず広く受け入れることを評価す

るなら、「拘らない（P.87）」「大胆（P.130）」などとも言える。

★さっぱりと

「一つのことにとらわれないさっぱりとした性格」

〈態度〉余計なもの、しつこさが無い、小さいことにこだわらないという点で、よい印象を受けたときに言う。

①バリエーション

★からりと「からりとした人柄で、悪口を言われなくても気にしない」▼「からつ」とも。

★きつぷ「全部おごるって？ きつぷがいいね」▼「気っ風」とも書く。

★さばさば「担当医は気休めも言わないさばさばした人だから信用できる」▼男性的な属性であるというニュアンスを伴うときもある。

★すかつ「お奉行さまの啖呵はいつ聞いてもすかつとするねえ」

★すきつと「この胃薬を飲んだらすきつとした」

★竹を割ったよう「坊っちゃん竹を割ったような気性だ」▼竹がまっすぐに割れることから気性がさっぱりしているさま。

★痛快「痛快な冒険活劇」「痛快な逆転劇」

②関連

★大らか（P.32）・★拘らない（P.87）